

令和8年度 名取北高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす								
各教科指導目標	国語	◎	○	○	○	地理歴史	◎	○	○	公民	◎	◎	○	○	数学	◎	○	○							
	表現力・理解力を養い、多様性を認め合い、国語を尊重し、社会の一員としての自覚を持って豊かな社会を形成していく力を育てる。					世界各国の歴史・文化・風土を尊重し異文化理解を深め、世界における日本を考察し、地域社会に貢献するとともに国際社会へ貢献しようとする資質を養う。					現代の社会や人間の生き方について主体的に考察し、社会の中で果たすべき自己の役割やよりよい生き方を探求する公民的資質を養う。					数学的活動を通して、論理的思考力や洞察力を高め、自律し、数学的根拠に基づいて判断する能力を育成する。					科学的な知識や思考を身につけることにより、自然と人間との関わりを探究し、持続可能な社会の実現に貢献しようとする態度を養う。				
	保健体育	◎	○	○	◎	芸術	◎	○	○	外国語	◎	○	○	○	家庭	◎	○	○	情報	◎	◎	○			
運動を通して体力の向上を図り、仲間と協力して自らの責任を果たす態度を養うとともに、心身ともに健康な生活を送るための知識、能力及び実践力を養う。					表現や創造、鑑賞などの活動を通じ、価値観の違いや互いの存在意義を認め合い、人や社会との関わりを感じ共生できる豊かな情操を育む。					外国語の学習を通じて、異文化に対する関心・理解を深め、情報や考えを適切に伝えるための聞く、読む、話す、書くの各分野における能力を養う。					社会と家庭とのかかわりについて理解を深め、生活に必要な知識と技術を習得し、男女が協力して生活を創造する能力と実践力を育む。					進展する情報社会の中で、一人ひとりが必要な情報を選択し真偽を判断して、健全で生産的なコミュニケーションがはかれる能力を育成する。					
学年共通									かかわる	もつめる	はたす	各学年指導目標													
指導内容	① あいさつの励行	◎	○	○	○	1年	○自分の適性を把握し、他者との関係を通して望ましい人間関係を形成する。 ○規範意識を高め、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○基礎学力の定着を図るとともに、自主的な学習習慣を確立させる。 ○部活動や校外学習等の諸活動を通して、協調性、社会性を育成する。																		
	② 学習習慣の徹底	◎	○	○	2年		○学校生活全般に対して主体的に取り組む姿勢を育成する。 ○学力の向上を図るとともに、自主的で計画的な学習習慣を確立させる。 ○挑戦的な進路目標を設定しその達成に向けて、自己理解、進路研究の機会を積極的に設ける。																		
	③ 基本的な生活習慣の確立	◎	○	○		3年	○自らの能力と適性を的確に判断し、高校卒業後の進路を決定する。 ○自らの進路先や志について探究し、長期的な将来像を持たせる。 ○進路や志を実現するための課題を見出し、計画的に考え行動する。 ○卒業後に必要となる社会的な能力・習慣を身に付ける。																		
	④ 定時着席の励行	◎	○	○			⑤ 部活動の活性化	◎	○	○	⑥ 清掃活動の徹底	◎	○	○											
	指導内容									ねらい			指導教科等			実施時期	時数	かかわる	もつめる	はたす					
	共通	課題解決探究					社会との関わりを通じ、多角的な物の見方や知識を得るとともに、自己のあり方やより良い生き方を模索し実現する力の育成。					総合的な探究の時間			通年	35	◎	◎	◎						
体育祭					同学年だけではなく他学年の生徒と協力し、行事を円滑に遂行することで望ましい人間関係の構築と責任感、連帯感を育成する。					特別活動			10月	12	◎	○	◎								
大震災を語り継ぐ北高生の集い					震災の風化を防ぎ、未来への教訓とするとともに、被災地の復興のために自分たちに何ができるか、自己のあり方を考える。					特別活動			2月	1	○	○	○								
1年	外部講師・団体による各種講演の実施					各方面からの講師を招き、社会の広い知見を持ち探究の手立てとするとともに、進路達成の一助とし、自らの将来に役立てる。					特別活動・総合的な探究の時間			通年	6	◎	○	○							
	卒業生講話					上級生の経験談を聞き、自分の進路について考えを深め、進路目標設定の参考にする。					特別活動			3月	1	○	◎	○							
	キャリアセミナー					社会人との対話を通して自分を知り、社会を知る一助とする。					特別活動			12月	1	◎	○	○							
2年	外部講師・団体による各種講演の実施					各方面からの講師を招き、社会の広い知見を持ち探究の手立てとするとともに、進路達成の一助とし、自らの将来に役立てる。					特別活動			通年	6	○	◎	○							
	卒業生講話					上級生の経験談を聞き、自分の進路について考えを深め、進路達成のために必要なことを学ぶ。					特別活動			3月	1	○	◎	○							
	進路ガイダンス					進路に関する理解を深め、進路決定の参考とし、今後のスケジュールを考える。					特別活動			3月	2	◎	◎	○							
	修学旅行					自律的に企画・立案・実施を行うことで、修学旅行の意義に気づき、自主性、計画性を育み、自己有用感を高め旅行を通しての学びを深める。					特別活動			4～12月	10	◎	○	◎							
3年	外部講師・団体による各種講演の実施					各方面からの講師を招き、社会の広い知見を持ち探究の手立てとするとともに、進路達成の一助とし、自らの将来に役立てる。					特別活動・総合的な探究の時間			通年	4	◎	◎	○							
	進路説明会・進路別ガイダンス					進路に関する理解を深め、進路決定の参考とし、今後のスケジュールを考える。					特別活動			6月	2	◎	◎	○							
													合計時数		81										